

事業団だより

なないろ

第8号

平成30年8月

表紙「ふれあい活動ホーム第2あかしあ利用者の皆さん」

施設紹介 相談支援センターつみき . . . P2～3

活動風景ほか . . . P4

ニュース&トピックスほか . . . P5

事業報告ほか . . . P6

生きがい会館

バー人材センター

ホーム第2あかしあ



人が大好き、お仕事も大好きな利用者さんが、大勢通う第2あかしあです。エメロード通りを少し入ったところにある生きがい会館1階の作業室で、受注作業に取り組んだり、市内を歩いて情報誌を配布したりして楽しく働いています。おとしから市民ふれあいまつりでの模擬店出店や、自治会の防災訓練などに参加させていただくことも始めました。地域の皆さんとの関わりの中で、仕事だけでは味わえない達成感～初めて会う人とも笑顔を交わしてふれあう楽しさ、伝えたことを受け取ってもらう喜び～を感じ、充実した毎日を過ごしています。今後もますます社会の一員としての取り組みの充実を図ってまいります。本紙をご覧の皆様とも是非地域での活動でお会いできたらと思います。その時はどうぞよろしくお願いいたします。

ふれあい活動ホーム第2あかしあ（就労継続支援B型） 施設長 筒井裕子



相談支援センター つみき

障害のある方、発達に心配のあるお子さん、保護者の方の生活上の悩みや不安、福祉サービスの利用など様々なご相談を受けつけています。



主な業務

○茅ヶ崎市相談支援事業

市内在住の障害児者やその家族の相談窓口です。

お子さんから大人の方まで幅広くご相談ください。

○計画相談

・指定障害児相談支援事業（18歳未満の方のサービス利用の申請に必要な計画書を作成します。）

・指定特定相談支援事業（主に大人の方のサービス利用の申請に必要な計画書を作成します。）

○認定調査

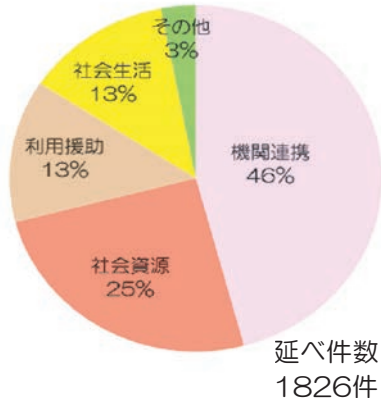
茅ヶ崎市からの依頼で18歳以上の方の障害支援区分の調査を行います。

相談の内容

・来所、電話、訪問等で、ご本人、ご家族、支援されている方々のお話をうかがいます。

・昨年度の一般的な相談の内容

（児童の相談が約6割です）



機関連携：事業所や機関とつながりのある支援

社会資源：サービス提供事業所探し

サービス利用に向けた調整、定着支援等

社会生活：お子さんの発達や関わりかた
問題行動、就学・就労支援、家事、
健康医療、対人関係、余暇支援、
日常生活上の相談、ほか

利用援助：セルフプランの作成など
申請手続きのサポート

・計画相談（指定障害児相談支援事業と指定特定相談支援事業）を行っています。
約9割が障害児相談支援です。

つみきの活動紹介

ペアレントトレーニング

講師をお呼びして、全5回のプログラムです。
ご家族がお子さんとの関わり方を学びます。



- ・気持ちや思いを共有する事や代弁する事の大切さがわかった。(母 Yさん)
- ・実践を重ねる中でコミュニケーションが取れていると実感できた。
- ・母どうしが仲良くなれた。(母 Sさん)
- ・自分が導かなくてはと関わりが指示的でせっかちになっていた。本人が発している意味や背景を考えていきたい。
- ・わかってもらえたことで生活が安定した。(母 Mさん)
- ・1か月宿題を試してみても自分の気持ちを言える兆しが出てきた。(母 Yさん)

とご感想が寄せられました。

つみきの集い

6月7日に浜須賀会館会議室をお借りして新1年生の保護者と茶話会を行いました。お子さんもお母さんも新しい環境に慣れ、楽しく学校に通えているお話が多く聞かれました。今年度の「夏休み親子ムーブメント体験」や「ペアレントトレーニング」のご案内をしました。皆さんご関心を持たれた様子でした。



センター長より

事業所の名前は、「つみき」に様々な形や色があるように、それぞれの人の様々な思い、希望、夢があり、その思いや様々な力を一つひとつ丁寧に積み上げ自己実現に向かうお手伝いができればという思いを込めました。松が丘の地に職員2名の小さな事業所を開所し、現場経験しかない2人でどこまでできるのか不安で毎日が手さぐりの状態でした。一つひとつの業務を何度も振り返り、積み上げてきたことはつみきの原動力になっています。多くの方々のお力添えをいただき、10月で7年目を迎えます。支えてくださった方々に感謝もうしあげます。より多くの方々に支えられる事業所としてこれからも成長し続けていきたいと思ひます。



〒253-0025

茅ヶ崎市松が丘2-8-51 *つつじ学園内

☎ 0467-84-5220

受付時間 月～金曜日8時30分～17時15分

ふれあい活動ホームあかしあ（生活介護） 活動風景



6月13日（火）に毎年恒例の歩き遠足で辻堂海浜公園に行きました。スカイサイクルや二人乗り自転車、室内では電車運転シミュレーターやジオラマで楽しみました。お昼は皆で一緒にお弁当を食べ、帰りにはカフェボードウォークでケーキやクリームソーダ、コーヒーなどを美味しくいただき、自分でお金を支払うことを経験しました。台風後で気温が上がりとても暑いなか、皆さんの体調を心配しながらの遠足でしたが日焼けもして健康的に過ごすことができ、普段歩くことの少ない皆さんにとって「充実した一日だった」と思ってもらえていたら嬉しいです！暑かったけど、楽しかった～！



つつじ学園ひよこ組（児童発達支援事業） 活動風景

春の日差しが温かな5月中旬、茅ヶ崎里山公園へ遠足に行きました。理学療法士の先生も一緒に行き、遊具での遊び方を学んだり、芝の上では寝返りをしたり滑ったりしてたくさん身体を動かしました。お母さん達にも芝の上での寝返りを体験してもらって、「キャー」という歓声?!が聞こえ、子ども



達の思いを共有する楽しい時間でした。たくさん遊んだあとのお弁当の時間は子ども達の更なる笑顔が見られました。お友だち、お父さん、お

母さん、職員みんなと外で食べるご飯はいつもの何百倍もおいしく、みんなペロリ♪食後も遊び、みんなで楽しい思い出ができました☆
また行きたいね(^^)



PICK UP!

つつじ学園 作業療法指導（OT）

つつじ学園では日々の療育のほか、専門職員の指導があります。第2回目の専門指導紹介は、小児の作業療法について学園の作業療法士山口ヘインインタビューをしました。

Q. 作業療法とはどのような指導ですか？

作業療法の「作業」とは・・・食すること、排泄すること、あそぶこと、人の日常生活に関わる全ての諸活動を作業と呼んでいます。

作業療法では、運動や知覚・心身機能などの基本的動作能力、食事や着替えなどの応用的動作能力、地域で生活していく社会的適応能力の3つを維持、改善し、「その人らしい」生活の獲得を目標にしています。

ここでは、クラスで過ごす様子から姿勢を調整したり、お散歩や身体遊びを通して粗大運動を重ねたり、制作や食事場面で道具を工夫するなど、お部屋の内外でお子さんたちと関わっています。

Q. お子さんを見る際に大切なポイントはどこですか？

特にこの時期のお子さんたちに対しては、楽しいと感じる活動を通して自発的な動きを引き出すことを大切にしています。

また、個別で関わる時間は限られているので、保護者の方々や、クラスの担任、看護師、理学療法士、言語聴覚士、心理の職員たちとの連携を大切にしています。

様々な発達段階の中で、お子さんたちの今の動作から次のステップにつながるようサポートしています。

Q. 先生の嬉しい瞬間、喜びはなんですか？

お子さんたちの、何かにチャレンジし、できた時の笑顔に出会えることです。

ひとつの動作ができるためには、遠回りに思えるような遊びや活動の中にたくさんの準備があり、やがて動作の獲得につながります。その一つひとつを丁寧にすくいあげ、保護者の方々や先生たちと共有し、一緒に喜ぶことが嬉しい瞬間です。

ちいさなステップをたくさん積み重ねて、大きな成長へとサポートしていけたらと思います。

いかがでしたでしょうか、お子さんたちは楽しさの中で一つひとつステップを踏みながら日々、力を育んでいます。



株式会社ニュークイック様より あかしあへ寄贈品をいただきました！

ふれあい活動ホームあかしあへ株式会社ニュークイック様より加湿空気清浄機3台、パーソナルカラオケを寄贈いただきました。加湿空気清浄機は織り、木工それぞれの作業室と食堂に置かせていただき、綺麗になった空気の中で作業と食事をすることができています。また、パーソナルカラオケは行事や余暇の時間に利用者の皆さんが大好きなカラオケを楽しむことができ大変ありがたく思っております。お礼として利用者さんにお礼状を作ってもらい送らせていただきました。本当にありがとうございました！



ふれあい活動ホーム赤羽根 印刷・弁当販売終了のお知らせ

ふれあい活動ホーム赤羽根では、平成5年の開所時より印刷事業を実施してきましたが、印刷分野のデジタル化により、その制作工程は大きく変わりました。複雑なパソコン操作が必須となり、利用者の皆さんが従事する作業として適さないものになりつつありました。就労支援の事業所として、利用者の皆さんが活躍できる仕事を提供することが大切と考え、印刷事業を平成29年度で原則終了しました。

また、変化していく法律の動きに対応する形で、給食調理業務と弁当販売事業も平成29年度で終了しました。

長年に渡りご愛顧いただきました皆様には心より御礼申し上げます。今後は、軽作業、清掃・除草作業でこれまで以上の注文をいただけるよう頑張っていきます。

行事のお知らせ

“あかしあまつり”

日時 9月15日（土）
11時～14時
場所 ふれあい活動ホームあかしあ
（松浪1-10-4）

“つつじ学園祭”

日時 11月17日（土）
10時30分～14時
場所 つつじ学園
（松が丘2-8-51）



「これまでの道のり」

4月、つつじ学園あひる組の入園式。新入園児の中でただ1人年長で入園の息子。ときどき他の保護者の方から、「何で年長から入園？」と聞かれることも。

たんぼ教室を経て、藤沢市の湘南北部療育センターに8ヶ月通い、その後つつじ学園べんぎん組で1年。当初は幼稚園との併用を考えていたものの、やがてそれは息子のために良い選択なのか？と思うように。そんな悩みを先生方に相談、共有し、出した結論は、年長からでもあひる組に入園。

遠回りしたかなと時には思いつつも、毎日楽しそうに登園していく息子を見送るたびに、これまでに経験してきた色々なことが今に繋がっているのだと思えます。息子にとって安心できる環境、先生方がいることに感謝しています。

つつじ学園 利用者 大田碧人の母



「わたしと本」

私は読書が好きです。子どもの頃は「かいけつゾロリ」や、友達の影響で「ズッコケ三人組」を読んでいた。そして、中学の時に今現在も読み続けている大好きな作家・はやみねかおるさんに出会います。代表作は「名探偵・夢水清志郎事件ノート」シリーズです。自称名探偵の夢水は論理学教授でしたが、辞めさせられ、語り手となる少女の家の隣の洋館に引っ越してきます。そして、何とも不思議な事件に遭遇していくのです。食事をする事も忘れ、大量の本を読み続けられる生命力がある代わりに、一般常識を持ち合わせていない夢水に呆れますが、いざ探偵として動く彼は、まるで別人のように謎を解いていきます。ぜひ皆さんも一度読んでみてください。

第2 あかしあ 利用者 塙洋輔

◎リレートーク◎



「私の週末」

仲間との連帯感やがんばったことへの達成感、礼儀などを学んでほしいと思い、息子が野球を始めて4年目。上級生が少ないチームなので今年から1部チームに所属となり、基本、土曜、日曜、祝日も練習や試合があり、ゴロゴロ、のんびりだった私の週末は、早朝からおにぎりを作る生活に一変しました。

時間があれば息子のがんばる姿を見にグラウンドへ行き、「打った～！」「あ～取れない↓」「打てますように！」と喜んだり哀しんだり、両手を合わせて祈ったり…。

私も息子と一緒にプレーをしている心境です。

週末はのんびりとはいかななくなりましたが、普段の学校生活だけでは築けない親同士の繋がりを持ってたこと、感情を表に出して思いっきり応援できること、家族で同じ時間を共有できることがとても幸せだなあと感じている今日この頃です。

私の週末を変えてくれた息子に感謝！♡♡♡

事務局 職員 渡邊祐美



「笑顔が大事」

小学生の時に近所にある絵画教室に通っていました。赤いポロシャツ、黒のベレー帽がトレードマークのおじいちゃん先生が教えてくれていました。とても優しく、たくさん褒めてくれ、握手で挨拶がお決まりでした。教室を辞めても、近所でお会いした時は優しく声を掛けてくれ、お決まりの握手をしてくれました。ある時、先生が「君はいつも笑顔で挨拶してくれて嬉しいよ。とても素敵だね」と言ってくださいました。とても照れ臭かったのですが、とても嬉しく今でも大切な言葉として残っています。笑顔でいられないこと、笑顔を忘れてしまうことも多くありますが、あの時の言葉を大切に毎日を過ごしています。

つつじ学園 職員 杉本絢子

平成29年度 茅ヶ崎市社会福祉事業団事業報告

<本部>

・法人のガバナンス強化等を目的とした社会福祉法の改正に対応し、定款・関係規程の改正、組織の見直し等を経て新たな制度下でのスタートが切れました。

・法人本部事務局の新規事業所開設に合わせた指定管理施設内からの移転、事務局機能の人的強化などにより、自主自立的運営に資する取り組みができました。

<つつじ学園>

・子どもの状態や様子を保護者と常に確認しながら、子どもの状態に応じた療育の実施と充実を図りました。

・保育所等訪問事業では、利用回数が前年度比 30.2%増となりました。

・親子通園の中で保護者支援にも重点を置き、子どもの行動や考え方の特性を具体的に理解ができるよう保護者と協同して事業に取り組みました。

<かめっこくらぶ>

・個別対応が必要な重度の利用児への対応、学校や家庭での過ごしが難しい児童の定期利用への対応など、限られた職員のもとで、よりきめ細やかなサービスを提供しました。

<つみき>

・相談件数や計画相談数は前年度を上回りました。

・地域の小学生の子どもを持つ保護者向けの講演会やペアレントトレーニング講習、ムーブメント教室を開催し好評を得ることができました。

<赤羽根>

・企業や関係機関との連携により、目標であった4名の一般就労者を輩出することができました。

・就労者のフォローとして状況に応じた職場定着支援にも力を注ぎました。

・常に契約数を意識し運営することで、定員以上の利用人数を維持できました。

<あかしあ>

・利用者・保護者のニーズに応えながら体操や歌の発表などを実施し、日中の居場所としての役割を担うことができました。

・新商品の開発を行い、自主製品の販売額を前年並みに保つことができました。

<第2あかしあ>

・地域、住民との連携推進、認知度アップへの取り組みとして行事への参加や施設公開日を設け、施設の見学、利用者の様子を見ていただくなど活動内容等の周知を図ることができました。

<ぐっじょぶ矢畑>

・定員20名のところ6名でのスタートでしたが、相談支援事業所や養護学校等をはじめとした関係機関、関係団体との連携により3月末での実利用者は13名となりました。

<あっとほーむ>

・利用者の生活の質の変化に対応する取り組みとして、単身で生活をするサテライト型の共同生活援助事業を平成30年度から開設できるよう準備しました。

<福祉会館>

・海岸青少年会館の閉鎖後、利用者の受け入れをはじめ、青少年と高齢者の方の世代間交流事業を行うなど、工夫を講じながら会館運営を行いました。

施設の利用状況 (単位:人)

		延利用 数(年間)	平均利用 者数(日)	出席率 (%)
つつじ学園	センター	7,538	32.9	84.4
	事業	2,778	12.1	69.0
かめっこ くらぶ	東海岸	1,520	6.4	
	松が丘	1,161	4.9	
赤羽根	就労移行	1,340	5.6	99.3
	就労継続B	6,247	25.9	92.7
あかしあ		4,412	17.5	87.5
第2あかしあ		6,482	26.3	88.9
ぐっじょぶ矢畑		2,048	8.5	81.1
福祉会館		89,271	291.7	

あっとほーむの利用状況 (単位:人)

	定員	入居者
小和田	5	5
松が丘	5	5

相談支援センターつみきの活動状況 (単位:件)

		延件数 (年間)	平均(月)	
計画作成 支援	児童	119	9.9	10.5
	成人	7	0.6	
モニタリング	児童	143	11.9	12.8
	成人	11	0.9	
各種相談	児童	1,042	86.8	152.2
	成人	784	65.3	

貸借対照表 (法人全体)

平成30年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	288,071,244	流動負債	25,576,695
固定資産	41,551,507	固定負債	18,620,361
基本財産	3,000,000	負債の部合計	44,197,056
その他の固定資産	38,551,507	純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	2,665,716
		次期繰越活動増減差額	282,759,979
		(うち当期活動増減差額)	39,147,243
		純資産の部合計	285,425,695
資産の部合計	329,622,751	負債及び純資産の部合計	329,622,751

事業活動計算書 (法人全体)

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日 (単位:円)

収益	就労支援事業収入	25,576,030
	障害福祉サービス等事業収入	61,340,993
	経常経費寄附金収入	208,026
	経常経費補助金収入	573,227
	指定管理事業収入	359,131,740
	受取利息配当金収益	354
	その他のサービス活動外収益	3,736,431
総収益		450,566,801
費用	人件費支出	320,529,743
	事業費支出	25,370,686
	事務費支出	34,012,622
	就労支援事業支出	24,797,814
	減価償却費	4,675,834
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-1,661,173
	その他のサービス活動外費用	3,694,032
総費用		411,419,558
当期活動増減差額		39,147,243
前期繰越活動増減差額		243,612,736
次期繰越活動増減差額		282,759,979

資金収支計算書 (法人全体)

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日 (単位:円)

収入	就労支援事業収入	25,576,030
	障害福祉サービス等事業収入	61,340,993
	経常経費寄附金収入	208,026
	受取利息配当金収入	354
	その他の収入	3,736,431
	経常経費補助金収入	573,227
	指定管理事業収入	359,131,740
支出	施設整備等収入	0
	総収入	450,566,801
	人件費支出	320,529,743
	事業費支出	25,370,686
	事務費支出	34,012,622
	その他の支出	3,694,032
	就労支援事業支出	24,797,814
総支出	固定資産取得支出	3,798,963
	その他の活動による支出	0
	総支出	412,203,860
	当期資金収支差額	38,362,941
	前期末支払資金残高	224,131,608
当期末支払資金残高		262,494,549



ご利用者、職員の皆様が協力ありがとうございました。

事務局 赤羽根 第2あかしあ

林 渡高 星白石 森佳久
退橋原野井 貴里恵
恭祐里 充晃 貴里恵
平美幸 司平 恵美久

一広報紙編集チーム員
つつじ学園

茅ヶ崎市社会福祉事業団は、平成29年度、地域住民の生活の質の向上を図るため、社会福祉法の改正に対応し、定款・関係規程の改正、組織の見直し等を経て新たな制度下でのスタートが切れました。

また、法人本部事務局の新規事業所開設に合わせた指定管理施設内からの移転、事務局機能の人的強化などにより、自主自立的運営に資する取り組みができました。

本年度は、就労支援事業収入が25,576,030円、障害福祉サービス等事業収入が61,340,993円、経常経費寄附金収入が208,026円、経常経費補助金収入が573,227円、指定管理事業収入が359,131,740円、受取利息配当金収益が354円、その他のサービス活動外収益が3,736,431円、総収益が450,566,801円となりました。

一方、人件費支出が320,529,743円、事業費支出が25,370,686円、事務費支出が34,012,622円、就労支援事業支出が24,797,814円、減価償却費が4,675,834円、国庫補助金等特別積立金取崩額が-1,661,173円、その他のサービス活動外費用が3,694,032円、総費用が411,419,558円となりました。

結果として、当期活動増減差額は39,147,243円、前期繰越活動増減差額は243,612,736円、次期繰越活動増減差額は282,759,979円となりました。

また、資金収支計算書では、総収入が450,566,801円、総支出が412,203,860円となり、当期資金収支差額は38,362,941円、前期末支払資金残高は224,131,608円、当期末支払資金残高は262,494,549円となりました。

編集後記

発行：社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団
茅ヶ崎市矢畑 262 番地 2
電話：0467-83-9282 ファクス：0467-84-9554
URL：http://www.chigasaki-sfj.jp
編集：広報紙編集チーム
印刷：ふれあい活動ホーム赤羽根
部数：600部